

## 2024年度 認知症ケア研修プログラム

(敬称略)

### 開会式

#### I. 認知症施策の最近の動向

1. 認知症をめぐる動向
2. これからの認知症施策

講師：富山県厚生部高齢福祉課 地域包括ケア推進班 中澤 奈津実

#### II. 認知症の原因疾患と病態・治療

##### 1. 認知症概論

講師：北陸病院 副院長 橋本 隆紀

##### 2. 認知症の病態・治療

講師：北陸病院 院長 吉田 光宏

##### 3. 高齢者の睡眠

講師：北陸病院 第1精神科医長 睡眠医療センター長 細川 宗仁

##### 4. 認知症患者の行動・心理症状（BPSD）について

講師：北陸病院 第1精神科医師 認知症治療病棟医長 沼田 俊也

#### III. 多職種による認知症患者の専門的知識と関わり

##### 1. 認知症患者の倫理的課題と意思決定支援

- 1) 認知症患者の自己決定を支援する各種制度について
- 2) 高齢者が地域で安心して生活を送るための支援の実際と課題

講師：北陸病院 精神保健福祉士 善端 恭子

##### 2. 高齢者の栄養

講師：北陸病院 栄養管理室主任栄養士 酒井 友梨子

##### 3. 高齢者の心理

講師：北陸病院 臨床心理士 小林 信周

##### 4. 薬物療法について

講師：北陸病院 薬剤科調剤主任 野尻 桂

##### 5. 作業療法と機能回復訓練について

講師：北陸病院 作業療法士長 春名 令子

#### IV. 若年性認知症患者の現状と支援体制について

講師：富山県若年性認知症相談・支援センター  
若年性認知症支援コーディネーター 中山 博美

## V.入院中の認知症患者の看護の実際

- 1.認知症の原因疾患と病態について
- 2.行動・心理症状（BPSD）、せん妄への対応の予防と実際
- 3.認知症患者及び家族とのコミュニケーション方法・入院在宅での療養環境の調整方法
- 4.認知症を持つ患者の看護アセスメントと援助技術
- 5.看護師による認知症患者の倫理的課題と意思決定支援
  - 1) 身体拘束が認知症の人に与える影響、エンドオブライフの意思確認について
  - 2) 認知症患者とその家族による意思決定への支援
  - 3) 認知症患者の倫理的課題
- 6.認知症患者の退院支援と退院調整
  - 1) 家族・地域との調整、当院で行っている訪問看護について
  - 2) 多職種チームでの連携について
  - 3) 認知症病棟における看護の実際

講師：北陸病院 脳神経内科病棟副看護師長 認知症看護認定看護師 松井 常二  
認知症治療病棟副看護師長 認知症看護認定看護師 山田 士郎  
脳神経内科病棟看護師 老人看護専門看護師 辻 めぐみ

## VI.事例検討・グループワーク

### 1.事例検討（グループワーク）

- 1) 事前提出事例について、グループ内で発表し、2事例を選出し、グループで検討する。
  - ・認知症患者に対する知識・技術を深め、対象の状況を考察できる
  - ・認知症患者の目線に立ち相互理解を深めて、自己の傾向に気づくことができる
  - ・研修での学び（認知症の原因疾患・病態生理・治療・患者家族の心理等）を活用して療養環境の調整、せん妄、BPSDの対応、倫理的課題と意思決定への援助を深める
  - ・認知症患者の適切な関わりとアセスメントによる看護介入を学び、薬物療法・身体拘束に関する観察と評価が行える
- 2) 選出した事例について補足説明を行い、メンバー間の共通認識をはかる。
  - ・選出した事例についてメンバー間でまとめを行う
  - ・まとめ方は自由とする

担当：北陸病院 認知症治療病棟看護師長 大門 香織

講師：北陸病院 脳神経内科病棟副看護師長 認知症看護認定看護師 松井 常二  
認知症治療病棟副看護師長 認知症看護認定看護師 山田 士郎  
脳神経内科病棟看護師 老人看護専門看護師 辻 めぐみ

## 2.事例発表・まとめ

- ・まとめた事例についてグループごとに発表を行う
- ・発表時間 5分、 質疑応答 3分、 タスクより 2分

## VIII. 全体討議

### 研修生全員参加

- ・研修全体を通じての質疑応答
- ・研修受講後の学びと、自施設での今後の取り組み等

## 閉講式・修了証授与式